

実務に即した文例で 用法・使い分けがすぐに分かる！

第3版

これだけは知っておきたい

公用文の書き方・ 用字用語例集

元公証人 渡辺秀喜 著

2022年10月刊 B5判 276頁 定価2,970円(本体2,700円) 978-4-8178-4832-1 商品番号:40442 略号:公用文

- 「公用文作成の考え方」(令和4年1月7日文化審議会建議)対応！
- 間違いやすい&文章の分かりやすさに直結する「文章・構文」、「語句の使い方」、「表記」を、この一冊で整理できる。

公用文作成で迷ったらこの一冊！最新版では実務に役立つ項目を追加！

新規！

「注意すべき言葉一覧」

差別語・不快語とその言い換え例を収録。知らずに使ってしまうことがないように、最終チェックに！

注意すべき用語	使用の可否 望ましい表現	用語解説
あんま あんまさん	マッサージ師	職業名の「あんま」は差別語ではないが、「あんまさん」は視覚障害者の間では嫌われている言葉である。使用しないのが相当である。
小使い 小使いさん	学校用務員	学校教育法施行規則第66条では「学校用務員は…」と規定されている。俗に「小使い」「小使いさん」と呼ばれたが、現在では蔑視表現であるので使用しない。
床屋 パーマ屋 美容店 美容院 〇〇屋	理髪店 美容店 美容室	八百屋・魚屋・風呂屋・床屋など蔑称として「〇〇屋」が付く小売業やサービス業の多くは、日々の現金収入による小規模な職業であることから、「〇〇屋」は一段低く見下した蔑視表現とされる。使用には注意を要する。
どさ回り	地方巡業	売れない芸人が地方巡業をすることで、どさ回りの「どさ」は、烏流しの地であった「依渡」をひっくりかえした隠語。江戸や大阪で売れない芸人を「烏流し」と侮蔑した言葉とされる。
サラ金	消費者金融	「サラリーマン金融」を略した言葉で差別用語ではないが、取り立てが厳しく「サラ金地獄」という言葉が頻繁に使われるようになり、イメージが悪くなったとして、業界が「消費者金融」の使用を推し進めた。なお、法令用語としてサラ金や
ニゴ	保母 保育士	1999(平成11)年の「児童福祉法」の改正により、男女差のない中性的な職業名に改称された。
女流作家	作家	職業名を「女子〇〇」「〇〇マン」と男女で区別・強調する必要はない。この言葉を使うこと自体が「これは女性(男性)がする仕事」という固定観念を広めてしまうとして、男女差のない中性的な職業名への用語変更が行われている。また、「OL」は若い女性というイメージで使われる傾向があり、使用しない方がよい。
女子アナ	アナウンサー	
女子高生	高校生	

新規！

「お役所言葉一覧」

「お役所言葉」といわれる公用文独特の言い回しについて言い換え例を提案。

〔さ行〕 更なる	⇒ より一層の/ますます
…されたい	⇒ …してください
…し得る	⇒ …することができる
…しかる	⇒ …ところが、しかし
…しかるべく	⇒ 適切に/適正に/よしに/適当に/正しく/当然に
支給する	⇒ 渡す/支払う
じくじたる思い	⇒ 悔やまれます
事情にかんがみ	⇒ 事情からして/事情を踏まえ/事情に思いをめぐらせ
支障のない	⇒ 差し支えない/問題のない/不都合はない
資する	⇒ …に役立てて/…助成する
…する次第です	⇒ …します
…したく	⇒ …したので/…したいと思っております
…している	⇒ …する
若干の	⇒ いくつかの/多少の/わずかの
差起す	⇒ 引き起こす
事由	⇒ 理由
従前の	⇒ これまでの/以前からの
周知徹底されたい	⇒ 全員にお知らせください
充当する	⇒ 充てる/割り当てる
十有余年	⇒ 十有余年
縦覧できる	⇒ 見ることができ/御覧になれる
熟知の上	⇒ 理解を深めてよく考えて
種々の	⇒ いろいろなる/さまざまな

用例・関連語・間違いやすい表記が一緒に分かる！

5 注意を要する用字用語等

(1) 「及び」「並びに」

「AもBも」というように複数の語句を併合的に結合する接続詞である。二つ以上の並列的語句を併合するときは「及び」を用いる。

A, B及びC ⇒ A B C

(例) 公証人の配偶者、血親等内の親族、書記及び使用人 (民法974条3号)

並列的語句が二段階となるときは、小さな段階の併合には「及び」を用い、大きな段階の併合には「並びに」を用いる。なお、「及び」のいところ「並びに」は使わない。

A 並びに B 及び C ⇒ A B C

(例) 裁判費用並びに執行官の手数料及びその職務の執行に要する費用の支払の猶予 (民法83条1項1号)

もてあます
もと

もとうけ
もとうけだけ
もとうりぎょうしゃ
もどかしい
もどしいれ

持て余す
下

元
本
基
もと
元請
元受高
元売業者
もどかしい
戻入れ

動
名

名
名
名
名
名
名
形
名

泣く子を持たず、暇を持たず (類)手に余る、退屈 (影響力や支配力の及ぶ範囲、…という状態・状況で、物の下の辺り) 法の下の平等、ある条件の下で成立する、花の下で遊ぶ (物事が生じる始まり、以前、近く、場所、もとで) 口は災いの元、元の住所 (⇒末) (物事の根幹となる部分) 国政の本を正す、本を断つ必要がある (基礎・土台・根拠) 資料を基にする、データを基に判断する ケーキのもと ×素 (複) (法) うまく行かなくてもどかしい (類)じれたい、歯がゆい (複)

